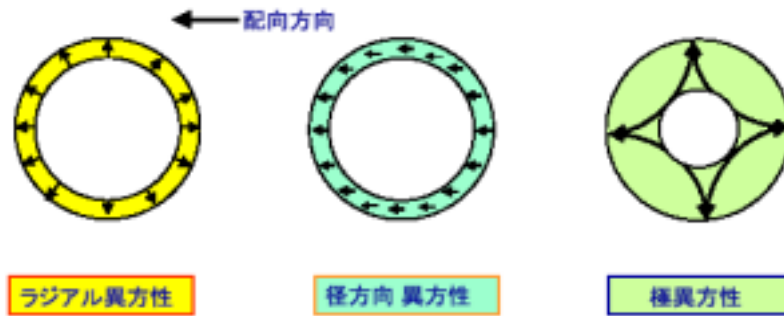


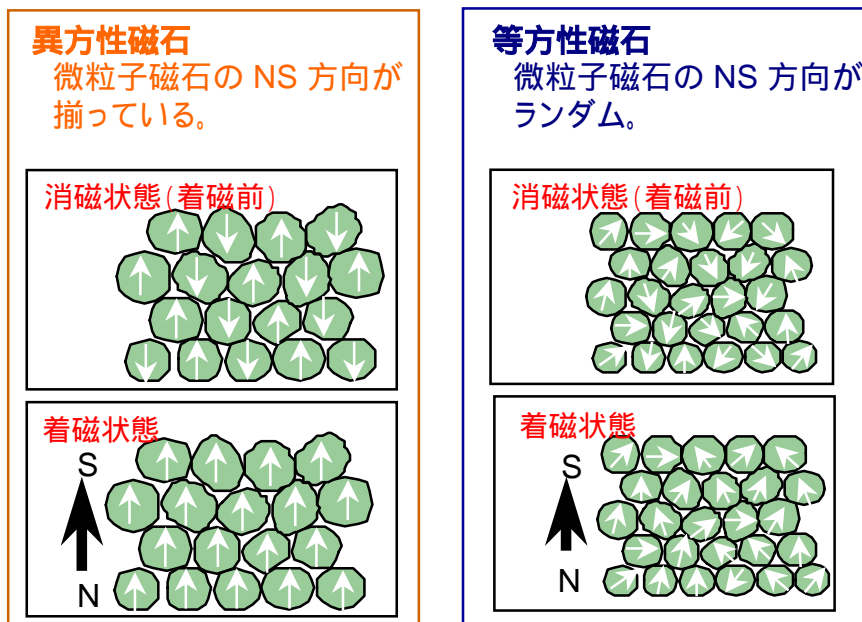
〔参考資料〕

- ネオジム系磁石 希土類元素のNd（ネオジム）を約30%含み、磁気特性が最強の磁石
- ラジアルリング磁石 ラジアル（放射状）方向に磁気特性を高めたリング磁石



最大エネルギー積 磁石が外部の空間に出すことができる磁石単位体積あたりのエネルギーの最大値。  
 表示単位：kJ/m<sup>3</sup>（キロジュール毎立方メートル）…SI単位系（新国際単位系）  
 MGOe（メガガウスエルステッド）…CGS単位系  
 1 kJ/m<sup>3</sup> = 0.126 MGOe

異方性 方向によって磁気特性が異なること。  
 異方性磁石はNSの配向方向が一定であり、配向方向に強い磁気特性を持つ。  
 一方、等方性磁石はNSの配向方向がばらばらであり、異方性磁石に比べ磁気特性は落ちるが、どの方向にも等しい特性を持つ。



磁気特性の均一性 リング磁石の円周上や長さ方向のどの点でも磁力のばらつきが少ないこと。  
 均一性が失われる主な要因は、磁石成形時の密度や配向方向のばらつき、配向磁場の不足。

着磁波形 磁化された磁石表面の磁束密度の大きさと分布を表したもの。

コギング 磁石のN極、S極の境目がモータ鉄心のスリットを通過するとき発生する回転方向のトルクムラ。